

9月14日 SSP交流会と事後アンケートの質疑応答

プログラムの内容について

Q: 具体的にどのような形で学ぶのか。

- A:**
- ・ 少人数形式の授業(SSP生と交換留学生 約20人)
 - ・ アクティブラーニング (例 グループディスカッション、グループプレゼン、グループレポート)

Q: SSP専用の授業内容のより詳細な情報が知りたいです。

A: 【Interactive Course on Business Basics (Marketing)】

- ・ マーケティング分析について学ぶ
- ・ プロジェクト(バナナチップスの新規市場開拓)
- ・ 毎授業プロジェクトの進捗確認
- ・ 日本製品との差別化を考えるために、消費者へのポテチの味や触感調査を実施

Q: 先輩方が実際にSSPに参加して体験したことなどを聞いてみたい。

A: 【Shibusawa Scholar Seminar I】

- ・ グループでグローバルリーダーを訪問してインタビューした

A: 【留学中】

- ・ SSPの授業で留学生とグループワークしているから留学に適応しやすかった
- ・ ポストンキャリアフォーラムで再会
- ・ 互いの留学先に遊びに行った

Q: 2年生の時のSSP科目の勉強時間はどのくらいか？

- A:** グループワークに時間をかけた。週でカウントすると、1コマ分(105分)のときもあったし、発表直前に夜通しということもあったが、そんなに時間を取られる印象はなかった。友達と時間を決めてZoomで打ち合わせたりもした。

Q: 実際の時間割例を教えてください。

- A:** 実際に受けた人の週間授業スケジュール (2年生の時のSSP科目) については、
http://ssp.cm.hit-u.ac.jp/ssp-wp/wp-content/uploads/2020/07/June_22_Q_and_A.pdf
をご覧ください。

Q: 将来のビジョンややりたいことが明確に定まっていない。SSPのプログラムや留学から学んだことと就活との結びつきについて。

- A:** やりたいことを探す第一歩がSSPだった。ポジティブなエネルギーをもつ友人と何か始めてみて (例えば投資や資格取得など)、それを仕事に結びつけた人もいた。

- A:** SSPで勉強してから (2年生の時勉強、3年生の時留学)、5年一貫に行ったら、MBAの勉強についていけるという実感があった。

- A:** 明確にやりたいことが決まっていなくても参加する価値がある。やりたいこと (起業など) が決まっている学生と出会えるということもメリットの一つ。また、やりたいことが決まっていなくても、英語で勉強したり留学することで視野が広がる。

- A:** One Bridge Seminarに参加したら、日常生活ではなかなか出会えない素晴らしい講師に出会えた。

選考について

Q: 基準となるGPA要件は？

A: 一橋大学海外派遣留学制度に応募できる成績（入学から直近の学期末までの累積 GPA、2020年9月現在は2.9）を目安の一つとしておりますが、GPAがすべてではございません。選考では本人のやる気を評価しております。

Q: 推薦状は秋冬の先生に依頼することになるのでしょうか？（春夏がオンライン授業なので先生との信頼関係を築きづらいため）

A: どの先生にお願いするかは各自でご判断ください。導入ゼミの先生でも、個別に依頼した先生でも構いません。SSP選考は面接を重視しており、やる気やビジョンを見ています。推薦状の内容が不十分で×ということではございません。

A: 導入ゼミの先生に頼む人が多いですが、私は英語のDiscussionの先生に頼みました。

A: 今年度は先生とのコミュニケーションがとりづらいことを理解したうえで選考するので、あまり心配しなくて大丈夫です。

Q: 帰国子女が多く参加しても問題ないか？

A: 落とすための選考ではございません。帰国子女が理由の特別扱いも人数制限もございません。やる気や熱意のある学生に参加してほしいです。やる気のある学生がたくさん応募してきた場合は15名以上を選抜することもあるので、ぜひチャレンジしてください。

制度について

Q: 来年度と再来年度に兵役を遂行する予定がありますが、いつ応募したらよいでしょうか。

A: 2年後のSSP募集選考の時期に応募が難しいと思われるため、「2年後に参加」という但し書きつきで、今年度末（2021年1月）にご応募ください。

しかしこの場合、実際の参加は2年先になり、その間にプログラムに何らかの変更がある可能性があることをあらかじめご了承ください。

Q: 留学先を決める際、SSPの優先枠（部局間交流協定校）以外を選んだ理由は？

A: 行きたい大学が優先枠のリストになかったため。

A: 協定校の事前選考までに語学スコアを取得していなかったため。

その他

Q: 体育会との両立

A: 私は2年生の時は週4回、平日2時間、土曜日3時間練習していました。大学生活は一回きりなので、失敗を恐れずに興味のあることは何でも挑戦してみたら、意外となんとかなる！と思います。

Q: 資格取得との両立

A: 公認会計士

- ・可能（取得した先輩も）
- ・早めに留学のことも含め予備校と相談する

USCPA（米国公認会計士）

- ・大手会計事務所などによる育成採用あり（ボストンキャリアフォーラム・ロンドンキャリアフォーラム※留学生やバイリンガル向けの現地での就職活動イベント）

Q: 経済に興味があり、経済学部の講義を受講したいと考えております。SSP科目を履修すると他学部の講義は取りづらくなるのでしょうか？

A: 2年生の時はSSP科目の履修で忙しくなるが、自分の努力とスケジュール次第で他学部の講義を取ることはできると思う。

Q: 英語圏での生活経験がない人がSSPに参加するとどのように感じるのでしょうか。

A: 最初の1年はびっくりするくらいきつかったが、もがいていたらどうにかなった。（帰国子女の友達や交換留学生の友達ができ、協力して勉強した。）英語で授業を1年受けると、下手なりに英語が上達したので良かった。やる気さえあれば大丈夫。

Q: SSPは難しそうだ・厳しそうだという印象があるが、入ってどんな印象を持ったか。長所と短所について。

A: 【印象】

・思ったより普通の人が多かった。帰国子女や留学経験者だけでなく、英語圏での生活経験がない人もいる。

・入ってから何をしていくのかが大事。人や環境が整っており視野が広がる。

【短所】

・授業はすごく大変（SSPの授業で留学準備ができ、実りある留学ができた。英語力が向上した。）

【長所】

・SSPのみんなや交換留学生と過ごす時間が楽しかった。ほぼ毎日授業で顔を合わせられ、楽しく勉強できた。いろいろ相談できる親密な友達ができた。

・ポジティブなエネルギーを持っている人が多く、思いついたことをすぐにやって、そこから学んだことも多かった。